

札幌周辺の地盤のおいたち ～清田区を中心として～

赤松 周平

1. 開催日時：平成19年9月26日10:20～12:20
2. 場 所：三里塚小学校 3F会議室
3. シニア参加者：20名
4. 講 師：赤松周平
5. 内容及び感想

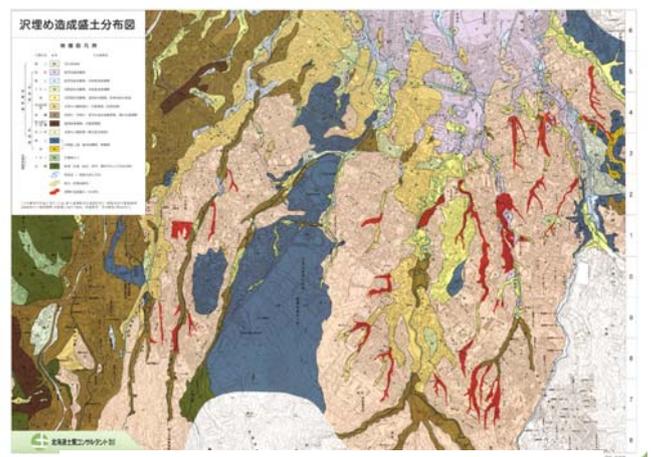
授業の前に、「技術士会」の仲間を紹介（講師8人）。奇しくも9月26日は、4年前の十勝沖地震で、清田区美しが丘で地盤の液状化が発生した日である。これを切り口として、清田区の地盤の話から札幌周辺の地盤の話に展開した。



4年前の地震による液状化跡



対馬座長十八番の「エッキー」も無断借用させていただく。砂の替りに清田区の地盤である「支笏火山灰」を使用する。



某社の「地盤図」を大いに活用する。
清田区の「沢埋め盛土」について説明



PPTによる説明の様子



業界の宣伝も怠り無く。

「地盤が心配な向きは、ご連絡を……………」

◆感想

清田区の地形図と地盤図を用意し、各自に自分の住んでいる場所をプロットしてもらい、地盤が安全かどうか考えてもらった。

清田区は、札幌の中でも比較的地盤は良い所と言えるが、4年前の地盤液状化は、皆さん強く印象に残っており、自分の家が「沢埋め盛土」の近くにある方は、やはり心配な様子で、「大丈夫だろうか」と聞いてくる人もいた。

「沢埋め盛土」が全て液状化する訳でないことを説明し、「自分が住んでいる土地が心配な人は、ボーリングで確認してはどうでしょうか」と宣伝もした。

やはり、自分の住んでいる土地に関する話は興味があるのか、拙い話であったが、皆さん熱心に聞いて下さったのは有り難かった。

◆反省点

地震のメカニズム（プレートテクトニクス）についても説明をしたが、今から思えば説明する図が不足しており、余りよく理解していただけなかったのではないかと反省している。

我々には常識でも、一般の方にとっては、理解しがたいこともあることを認識すべきである。